

2019年10月20日(日) 山陽新聞 [第1全県]

## 地域共生社会

実現を考える

手をつなぐ育成会

岡山で中国大会

知的障害のある本人や家族、支援者らが集う「手をつなぐ育成会中国・四国大会」が19日から2日間の日程で、岡山市内で始まった。事例発表や講演などを通じて、地域共生社会の実現を考える。

県手をつなぐ育成会などが主催し、9県の約1200人が参加。初日は世代ごとの支援の在り方や育成会活動をテーマにした四つの分科会などがあった。

このうち思春期の障害児支援を取り上げた分科会は、川崎医療福祉大の重松孝治講師がコーディネーターを務めた。心身の変化を理解できず、大声を出したり暴れたりする傾向があると説明した上で、「無理に止めるのではなく、大声を出しても構わない場所を確保するなど感情の吐き出し方をアドバイスして」と呼び掛けた。

20日は岡山市民会館(同市北区丸の内)で、厚生労働省障害福祉専門官の講演などがある。(森田奈々子)